

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境			0.40					3.0
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.35	2.4	1.00			2.4
2.1 室温制御		2.2	0.50	1.8	0.50			
1 室温		1.0	0.38	1.0	0.57			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.3	0.25	3.3	1.00			3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	居室面積に対して大きな開口部を確保し、昼光率を改善している	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	1.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気環境		3.6	0.25	3.5	1.00			3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F の建築材料を採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.0	0.30	2.6	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	自然換気有効換気面積が居室床面積の1/15以上の窓を設置	3.0	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御	建物内は全面禁煙としている	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.0
1 機能性		3.1	0.40	3.3	1.00			3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.5	0.60			
1 広さ・収納性	宿泊室の広さがツインで40㎡以上確保	-	-	5.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	0.50			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	各階に専用水道付の掃除用具室が配置されている	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-			
1 耐震性	建築基準法に定めるよりも耐震性を増した設計としている	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	高湿系排気ダクトにステンレスダクトを採用している	4.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	耐久性の高い材料を使用している	4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電設備を地上階に設置している	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信・情報設備(MDF、中継交換機)を地上階に設置している	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.9	0.29	2.0	1.00	2.2
3.1 空間のゆとり			-	-	1.0	0.50	
1	階高のゆとり		-	-	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.9	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		1.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	EPS室を各階に配置して更新、修繕を容易にしている	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	交換機室、EPS室を各階に配置して更新、修繕を容易にしている	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制		断熱材の採用により熱損失・熱取得の低減に努めている	4.2	0.30	-	-	4.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		負荷追従システムを使用している	5.0	0.30	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	5.0		-	-	
		集合住宅の評価	9.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントB種 断熱材	4.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	構造躯体と仕上げ材が容易に分別可能な材料を使用している	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			5.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡材を使用した断熱材を使用していない	5.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		LCCO2: 排出率63%	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
2.1 大気汚染防止		大気汚染物質を放出する燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	